

変わった花が特徴

< 植物名 >

ベルセイミア
カベンシス

水やり

土の表面が乾いたら、たっぷりと水を与える。しかし、夏は水やりをせず乾燥状態にしておく。

置き場所

半日陰に置き、水はけの良い土に植える。過湿を嫌うので、砂混じりの土に植えるとなおさら良い。

用土肥料

夏の休眠を過ぎたら施肥をする。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

分球、タネまき

冬越し

特記事項なし。

使い方 鉢植え

学名 **Veltheimia capensis**

英名

属名 **フェルトハイミア**

科名 **ヒアシンス**

性状(分類) **球根植物**

原産地 **南アフリカ**

花の色 **ピンク、赤紫色**

開花期 **12~1月**

購入時期

草丈 **30cm**

ID **38**

季節 **冬**

JFコード **16297**



冬越しと置き場所

半日陰に置き、水はけの良い土に植える。過湿を嫌うので、砂混じりの土に植えるとなおさら良い。

その他の解説

増殖の方法には、自然にできる子球からふやす分球と、タネを播く実生の2通りある。実生は3~4年で開花するが、分球は時間がかかる。夏の休眠を過ぎたら施肥をする。

特徴1

鱗茎をもつ球根植物。土の表面が乾いたら、たっぷりと水を与える。しかし、夏の間は休眠を必要とするので、夏は水やりをせず乾燥状態にしておく。

特徴2

地下茎の一種である鱗茎をもつ球根植物。球根は6cmほどで、卵型。葉は、灰緑色で、やや肉厚、縁が波をつたったような形をしている。花は、太い花茎の上に、総状花序についでいるが、下に垂れ下がった変わった形状をしている。